

(仮称) 区版避難行動計画の冊子の構成 (案)

<配布先>

浜松市内の全世帯に1部ずつ配布

<作成方針(ルール)>

各家庭で「避難の手引き」として活用されるよう、以下を方針とする。

**1. 避難行動につながる内容を重視したページ構成とする**

- ・「災害別の避難行動のポイント」をすぐ見られる最初のページにする。

**2. 活用してもらうように工夫する**

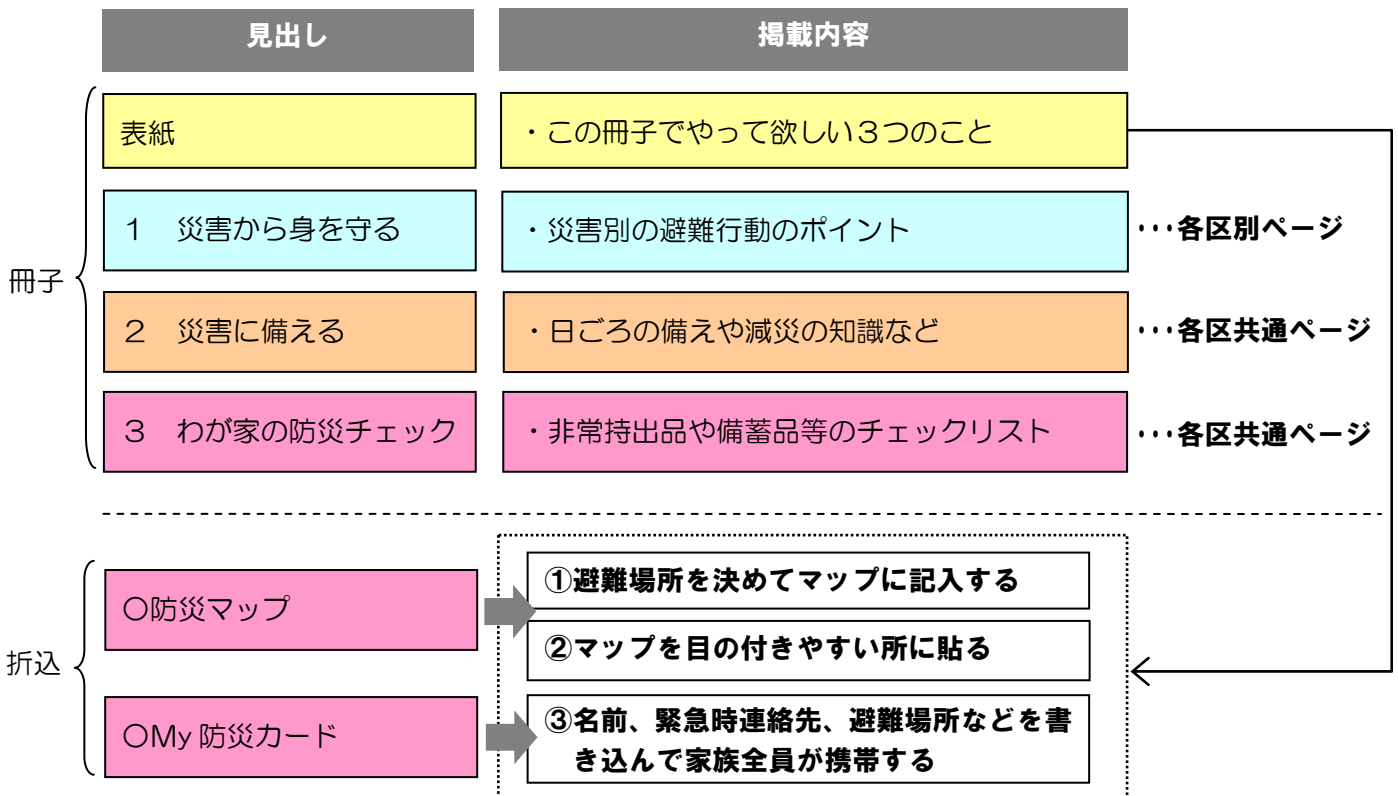
①内容

- ・表紙に冊子の使い方を書く。
- ・各家庭で避難場所などを記入し活用できるものとする。(防災マップ、My 防災カード等)

②表現

- ・見やすい文字の大きさ、色使い(色を乱用しない)とする。
- ・重要なことをシンプルに伝える。

■冊子の構成(案)



<冊子の体裁・ボリューム>

- 冊子：A4版 ページ程度
- 防災マップ：見開きA3版冊子綴込（区全体）＋A2版折込（拡大版）
- My防災カード：家族みんなが携帯でき、名前、緊急時連絡先、避難場所、常備薬等が記入できるカード

■各区の主な意見

	冊子の体裁	防災マップの体裁
中区	・A4が見やすくてよい	・区全体の図面（A3綴込）と、各地区を拡大した図面（A2折込）の両方があるとよい
東区	・家に置いて家族で見るにはA4が良い	・図面は持ち運びしやすい折込、なくしづらい綴込の両方があるとよい ・今後内容を見て検討したい
西区	・家に置いて家族で見るにはA4が良い	・自分たちで避難地・避難路を検討する図面として、各地区を拡大した図面（A2）がよい
南区	・A4が見やすくてよい	・区を3分割し、見開きA3の3ページで区全体が把握できるものがよい ・マップをA2として、裏面に冊子のダイジェスト版を載せる方法もある
北区	・意向確認ではA4が12名、A5が2名	・意向確認ではA3綴込が0名、A2折込が14名 ・表面を北区全図、裏面を各地区の拡大地区とする方法もある
浜北区	・A4が見やすくてよい	・自分たちで避難地・避難路を検討する図面として、各地区を拡大した図面（A2）がよい
天竜区	・A4が見やすくてよい	・各地区を拡大した図面（A2）がよい